

センセイコール（2）

変なものが出てきた

変なもの、とは、

1) 右クリックメニュー(または、右ドラッグメニュー)

マウスの右ボタンを押してしまったか、メニューキー(キーボードのスペースキーの右の方、メニューに矢印の形)を押してしまったとき。マウスでこの外側をクリックすると消えますが、クリック操作によって他の動きをしてしまうことがあります。なるべくキャンセル(Escキー)で返事をしましょう。困ったときはまずEscキー。

2) スタートメニュー

キーボードのWindowsキー(スペースキーの左の方、Windowsの窓の絵)をうっかり押してしまった。これも、Escキーで消すことができますが、その状態でパソコンが見ているのがスタートボタンに変わっているので、元の画面(Windowsキーを押す前に作業していたウィンドウ)に戻るために、そのウィンドウをマウスでクリックする必要があります。ウィンドウの一番上の青い部分(タイトルバーと言います)の色が薄くなっているので、クリックで濃い色に変えます。(ウィンドウがアクティブになる、と言います) いきなり元のウィンドウをクリックしても、スタートメニューを閉じて作業を再開することができます。このとき、クリックする場所は、ウィンドウのタイトルバーの何も無い青いところが最も適しています。

4) バルーン

タスクバー(画面の一番下の部分、左端にスタートボタンがある)の右端にかたまっているアイコン(小さいマーク)から、吹き出しの形で、アップデートしろ、とか、デスクトップを整理しろ、とかいろいろ指示してきます。これは、たいていは放っておけば消えます。気になるときは、バルーンにある×マークをクリックします。バルーン自体をクリックすると、「そうしますよ」と返事をすることになるので、適当ではありません。Escキーでは消えません。

タスクバーの右、時計の左に並んでいるアイコンは、そのときパソコンの見えないところで動いている(常駐している、と言います)ソフト(アプリケーションソフト、がより正確な呼称ですが、ここではソフト、を使います)がある、という意味です。ウィルスを監視していたり、時々インターネットに出て行って、コンピュータを守る情報があるかどうか見に行ったり、ソフトを新しくできるツールが公開されていないか調べたりしています。

通常のパソコンでは、重要な情報となりますので、無視してはいけませんが、パソコン室の生徒機に限って、バルーンを閉じて構いません。(※)

※こういった情報は、パソコンの設定を新しくするための情報であることが多いのですが、生徒機は再起動すると、設定が初期状態に戻ります。